

平成28年度予算見積調書

課室名：生活衛生課
 担当名：総務・動物指導担当
 内線：3612

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B107	愛護動物の防災・災害対策事業費			一般会計	衛生費	環境衛生費	環境衛生指導費	動物の正しい飼い方指導費	
事業期間	平成28年度～	根拠法令	動物の愛護及び管理に関する法律			戦略項目			
						分野施策	040104 生物多様性保全の推進		
<p>1 事業の概要</p> <p>災害時には人に限らず多くの動物が負傷又は逸走状態となる。併せて、多くの動物が飼い主とともに避難所に避難してくることが予想される。</p> <p>飼い主の多くは、愛護動物を家族の一員であると考えている。そのことから飼い主と愛護動物が速やかに避難できるためには、平時から愛護動物の防災及び災害時の同行避難を啓発することが必要である。</p> <p>また、災害時に避難所に動物を受け入れやすい環境づくりや被災動物を救護できる体制整備が必要となる。そのための人材育成や備蓄場所の確保、関係団体との連携推進、県民への啓発を行う。</p> <p>(1) 備蓄品等整備事業 324千円 (2) 愛護動物の防災・災害時救護事業 376千円</p>				<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容</p> <p>ア 備蓄品等整備事業(災害に備え、備蓄品の備蓄場所確保) 324千円 イ 愛護動物の防災・災害時救護事業(市町村防災担当への啓発、獣医師会・企業等との連携など) 376千円</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>市町村防災担当への動物防災研修等、災害時動物救護活動ボランティアの確保と研修、災害時に貸与できるケージ等備蓄品等備蓄場所の確保、獣医師会や民間企業・団体との連携強化、県民への備えと同行避難の啓発</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>災害時に飼い主とともに避難する動物を避難所で受け入れやすい環境づくりを促す。避難所での適切な愛護動物救護、適正な愛護動物飼養管理が行われるよう体制を整える。</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況</p> <p>ア 公益社団法人埼玉県獣医師会と発災時の獣医療提供に係る覚書を締結 イ 民間企業・団体と発災時の動物用医薬品や動物用資材提供に係る覚書を締結 ウ 災害時動物救護活動ボランティアの登録制度を設立</p>					
<p>2 事業主体及び負担区分</p> <p>(県10/10)</p>									
<p>3 地方財政措置の状況</p> <p>なし</p>									
<p>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員人件費 9,500千円×0.4人=3,800千円</p>									
				財 源 内 訳					
予算額								一般財源	前年との対比
決定額	700							700	700
前年額									